

2019.11.2-3  
MOTEGI

Round

08

qualify



## 最終決戦は惜しくもQ1突破はできず それでも巻き返しの決勝レースに注目



ついにシリーズ最終戦です。AUTOBACS SUPER GT 2019 第8戦は栃木県ツインリンクもてぎで11月2日(土)~3日(日)に開催、シーズン2勝を挙げたK-tunes Racing 96号車はランキング2位で臨みます。チャンピオンシップを争うランキング1位は#55ARTA NSX GT3でその差は14.5ポイント。55号車がゼロポイントでも96号車は2位以上が必要で、96号車が優勝しても55号車が5位以上ならチャンピオン決定となります。つまり、かなりチャンピオン争いは厳しい状況です。

ツインリンクもてぎのストップ&ゴーのコースレイアウトは、コーナリングスピードで優位に立つLEXUS RC F GT3にとって、苦手なコースです。トラクションに優れるミッドシップマシン=NSXやランボルギーニ、トルクフルな大排気量マシン=メルセデス、といったマシンが優勢なのです。

その不利な状況を打開するために、K-tunes Racingはマシンを仕上げてきました。予選を前にした午前中の練習走行、8番手のタイムをマークする。そこからさらにセッティングを煮詰め、マシンを微調整していきました。





予選Q1は新田守男選手が担当。まずは16位までに与えられる予選Q2進出を目指します。予選開始早々にコースイン。そしてアタックに入ります。ターゲットとなるトップタイムに対して、上回ることはできないものの、0秒1以下のタイム差でコースを進んでいきました。1分46秒台のタイムが見えていた、そのアタックラップは突然終わります。最終コーナーの立ち上がりでスピン!! 幸いマシンはコース上に留まってストップし、クラッシュはしませんでした。

再スタートし、予選終了ギリギリで2度目のアタックに入った新田守男選手は1分47秒360をマーク。しかし0秒046届かず、惜しくも17位で予選Q1を終えました。

チャンピオンシップを争う55号車は予選5位で、96号車は2位以上となることが最低条件。またランキング上位を競う他のマシンは全て予選をトップ10以内でクリアしていて、K-tunes Racingがランキング2位を死守するのも難しい状況になっています。

## 2019 AUTOBACS SUPER GT Round8 MOTEGI GT 250km RACE

ツインリンクもてぎ

2019年11月2日 天候：晴れ 路面：Dry

### qualify

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	720	McLaren 720S McLaren 720S GT3 / M840T	荒 聖治 アレックス・パロウ	1'46.939	1'45.907 R	YH	15
2	56	リアライズ日産自動車大学校GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平峰 一貴 サッシャ・フェネストラズ	1'47.027	1'46.033	YH	0
3	65	REON PYRAMID AMG Mercedes AMG GT3 / M159	蒲生 尚弥 菅波 冬悟	1'46.669	1'46.036	BS	0
4	11	GAINER TANAX GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平中 克幸 安田 裕信	1'46.601	1'46.166	DL	0
17	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	1'47.360	Q2に進めず	BS	0

## 監督・選手コメント



Team Director  
影山正彦

大変残念な予選結果になりました。マシンにとって苦手なコースとはいえ、いい感じで予選に入っただけに、悔しいですね。決勝レースはあらゆる可能性を探りながら、ベストな結果が残せるようチャレンジします。



Driver  
新田守男

午前中の練習走行からさらに調整し、予選のマシンは満足できるレベルでしたが最終コーナーでリヤのグリップを失ってスピンしてしまいました。チャンピオンは厳しくなりましたが、最後まで諦めずに戦いたいと思います。

